

今の暮らし、これからの燕。

10月18日(日)は燕市議会議員一般選挙です。
あなたは、どんな未来を選びたい？



私たちの暮らしと未来の燕をより良くするために、市ではさまざまな取り組みが行われています。その中で、市民の代表として、市政について話し合い、審議・決定する役割を担っているのが市議会です。

燕市議会では、20人の市議会議員が、市の予算や条例について審議したり、市が行う事業についての質問や、市政が適正に行われているかを確認したりしています。

子育て、教育、福祉、都市整備、産業、地域づくり…。市政にはさまざまなテーマがあります。その一つ一つを見ていくと、私たちの暮らしに行き着きます。市議会議員を選ぶことは、今の暮らしとこれからの燕をどうしていきたいかを考えることにつながっています。



市民の代表である市議会議員。10月18日(日)は、燕市議会議員を選ぶ日です。
今の暮らしとこれからの燕をどうしていきたいかを考える。
自分が大切にしたいことを託せる人に投票する。
選挙を、自分の今の暮らしと未来について考える機会にして、行動に移してみませんか？

燕の市議選 投票率はどれくらい？



「選挙って、何となく自分には遠いもの」と感じている人もいるかもしれません。
前回2022年の市議選では、投票率は46.94%でした。2018年の55.46%と比べると、8.52%も低下しています。投票率が下がっているということは、それだけ市政に自分の意思を示す人が減っているということ。だからこそ、まずは自分の今の暮らしと未来について考えてみるのが大切です。

過去3回の市議選投票率

2022年 有権者 66,063人
投票率 **46.94%**

2018年 有権者 67,633人
投票率 **55.46%**

2014年 有権者 67,318人
投票率 **54.04%**

「議会のことは、よく分からない」
そんな人は、まず身近な情報から見てください。

市議会では何が話されているか、のぞいてみよう。



選挙は、 日々の暮らしに つながっている。

「誰に投票するか」だけで考えるのではなく、「自分はこれからの燕をどうしたいのか」を考える。

選挙管理委員長に聞きました！



燕市選挙管理委員会
委員長 星野友栄さん

「自分はこう思う」と意思を示す
「選挙って、自分の暮らしと関係があるの？」と思う人もいます。でも、日々の暮らしの中で、「こ

こがもう少しこうなったらいいな」と思うことがあるのではないのでしょうか。
子育てをもっとしやすきたい。安心して働き続けたい。身近な場所で必要なサービスを受けたい。地域で人とのつながりを持ちたい。そんな今の暮らしに対する思いは、人によってさまざまです。
選挙では、まず自分が大切にしたいことや、どんな燕になっしてほしいのかを考えてみてください。そのうえで、候補者がどんなことを考え、どんな政策を掲げているのかを知り、自分の考えに近い人を選んでほしいと思います。

「誰に投票したらいいかわからない」という人もいます。最初から政治に詳しくなくても構いません。候補者の政策や主張を知ることから始めてみる。その一歩が、今の暮らしとこれからの燕を、自分自身のこととして考えるきっかけになるのではないのでしょうか。
一票は小さく見えるかもしれませんが、一人ひとりが「自分はこう思う」と意思を示すことが、今の暮らしをより良くし、まちの未来を形作っていくことにつながると 생각합니다。

見る 議会傍聴、議会中継・録画 議会中継・録画はこちら▶
本会議を議場やインターネットで見ることができます。

読む 議会だより PDF版はこちら▶
議会ですどんな議論が行われたのかを知ることができます。

調べる 燕市議会ホームページ 詳細はこちら▶
議員紹介や議会の日程、議案、審議結果などを確認できます。